

2. ワークショップ

〈1〉当日プログラム

みんなで考え、みんなで創る2030年の新潟市
～より住みよく暮らしたいまちにするために～

みんなで新潟市の ミライをかたる

ワークショップ

当日プログラム
Program

12:45 受付開始
肩慣らしワーク
受付が終わりましたら、「あなたが感じている新潟市の魅力」を付箋に書いて、スタッフが指示するボードの模造紙に貼り付けてください。何枚でも結構です。貼り終えたら、10島あるグループのお好きな場所にご着席ください。

13:30 オープニング
主催者挨拶、趣旨説明、総合計画の概要説明、ワークショップの解説
※ワークショップは20分で時間を区切って、グループメンバーを交代しながら3ラウンドまで行います。これはできるだけ多くの方と意見交換をしていただきたいと考えているためです。

14:00 ワークショップ 1ラウンド
●話し合いのテーマ：あなたにとって住み続けたい、暮らし続けたいと思えるまちってどんなまちでしょう
このことについてグループメンバーと意見交換をしてください。

14:20 席替え お一人を残し、他の方は別のグループへバラバラにご移動ください。

14:25 ワークショップ 2ラウンド
●話し合いのテーマ：新潟市はどれくらいそうした住み続けたい、暮らし続けたいと思えるまちになっているでしょうか

14:45 休憩 (10分)

14:55 「新潟市の魅力」まとめ結果の発表
肩慣らしワークで出していたいただいた意見のまとめをスタッフをご紹介します。

15:00 席替え お一人を残し、他の方は別のグループへバラバラにご移動ください。

15:05 ワークショップ 3ラウンド
●話し合いのテーマ：2030年を見据え、新潟市のまちづくりはどのような方向に向かうべきでしょうか

15:25 全体発表 (各グループ2分)
各グループで行われた話し合いのポイントを発表します。

15:45 クロージング
ふりかえりシートへの記入、主催者挨拶、全員の記念写真撮影

16:00 終了

主催：新潟市
企画・運営：NPO法人まちづくり学校

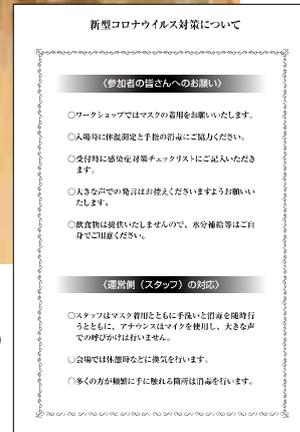
〈2〉感染症対策を施した受付対応

新型コロナウイルス感染症対策を徹底させるために、受付の前に消毒と体温測定のコナーを設置。また受付後には感染症対策チェックリストにも記入いただいてから会場に入る流れを作った。



感染症対策コーナーと受付風景

感染症対策について参加者に通知したお願い文書（右）



〈3〉肩慣らしワーク

肩慣らしワークというのは、受付が終了したら会場に入る場所で、「あなたが感じている新潟市の魅力」を付箋に書いていただいてそれを貼り出し、本編のワークショップの参考にしてもらうための導入作業を指している。

※新潟市の魅力の結果は、16P-17Pに掲載



会場入口に設けた肩慣らしワークのコーナー

〈4〉 オープニング

① 主催者挨拶、趣旨説明



主催者挨拶（坂井課長）

新潟市長の挨拶動画

② 新潟市の概要と次期総合計画の説明スライド資料

新潟市の概要について

新潟市
人口 約79万人
日本で16番目の大都市

【出典】総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（日本人及び外国人の総計） 割合は特別区に移す（2020年）

政令指定都市 8つの行政区

広大な田園環境と
本州日本海側の拠点都市

都市 と 田園 の調和

新潟市総合計画について

総合計画
にいがた未来ビジョン

新潟市の市政運営における
最上位計画

これからのまちづくりの
方向性を示す計画

2015年度から2022年度
までの8年間の計画

新潟市総合計画について

次期総合計画について

- 2023年度から**2030年度**まで 8年間の計画
- 学生、子育て世帯などを対象としたワークショップや、アンケート等により、市民の皆さまから意見をいただき、次期総合計画策定に活かしていく。

市民アンケート

学生、子育て世帯向け ほか
各種ワークショップ

多様な手法で市民の意見を聞き取り、
これからの新潟市が目指す姿を描く

LINE新潟市公式
アカウントによる
インターネットアンケート

次期総合計画の策定

みんなで新潟市のミライをかたち
づくるワークショップ(今回)

LINEアンケートについて

計画策定に皆さまのご意見を！！

- LINEアンケート**
実施予定時期:11月下旬頃
参加者:新潟市LINE友達登録者なら誰でも

今のうちに友達登録 & アンケート開始後はぜひご意見を！

LINE友達登録の際は、
希望する情報に
「市政情報」を登録ください。

新潟市公式
LINE

③ スタッフ紹介とワークショップの進め方の解説スライド資料

ワー
クシ
ョッ
プ



1



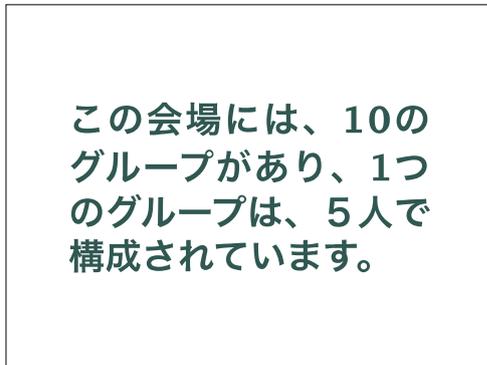
2



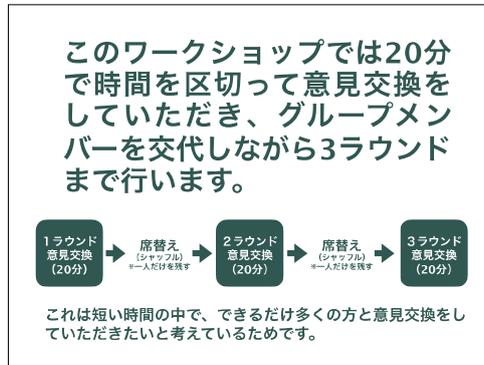
3



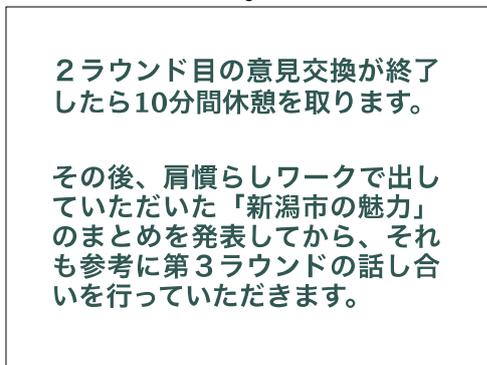
4



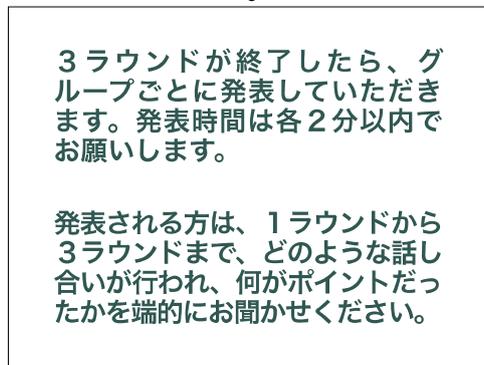
5



6



7



8

ワークショップ



ルールとエチケット

9

- ① 全員がお好きな色のマーカーを1本持って、大事だと思えることを模造紙の上に記録してください。
- ② 最初にテーブルホストをお一人決めてください。この人は前のラウンドでどんな意見が出たかを次に集まってくる人たちに伝える役目を担い、最後までそのテーブルに残ります。
- ③ 人の意見を否定しないで、アイデアをどんどん付け足していくような話し合いになるようにご協力ください。

10



各ラウンドの話し合いテーマ

11

1 ラウンドのテーマ

あなたにとって住み続けたい、暮らし続けたいと思えるまちってどんなまちでしょう

12

2 ラウンドのテーマ

新潟市はどれくらいそうした住み続けたい、暮らし続けたいと思えるまちになっているのでしょうか

13

3 ラウンドのテーマ

2030年を見据え、新潟市のまちづくりはどのような方向に向かうべきでしょうか

14

わからないことがありましたらお近くのスタッフにお声がけください。

それでは意見交換をスタートさせてください

15



解説時のスナップ

〈5〉ワークショップのスナップ (全9テーブル)

ワークショップ



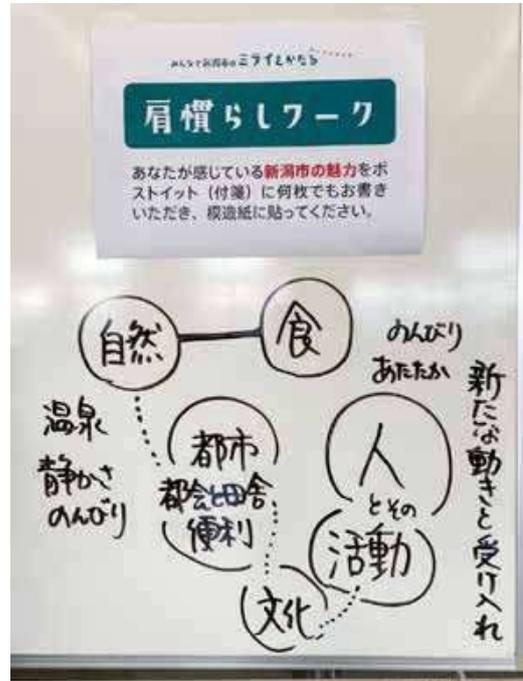
意見交換は、第1ラウンド～第3ラウンドまで、メンバーをシャッフルしながらそれぞれ20分間ずつ行った。

ワークショップ

〈6〉新潟市の魅力（肩慣らしワークで出た意見の集約）



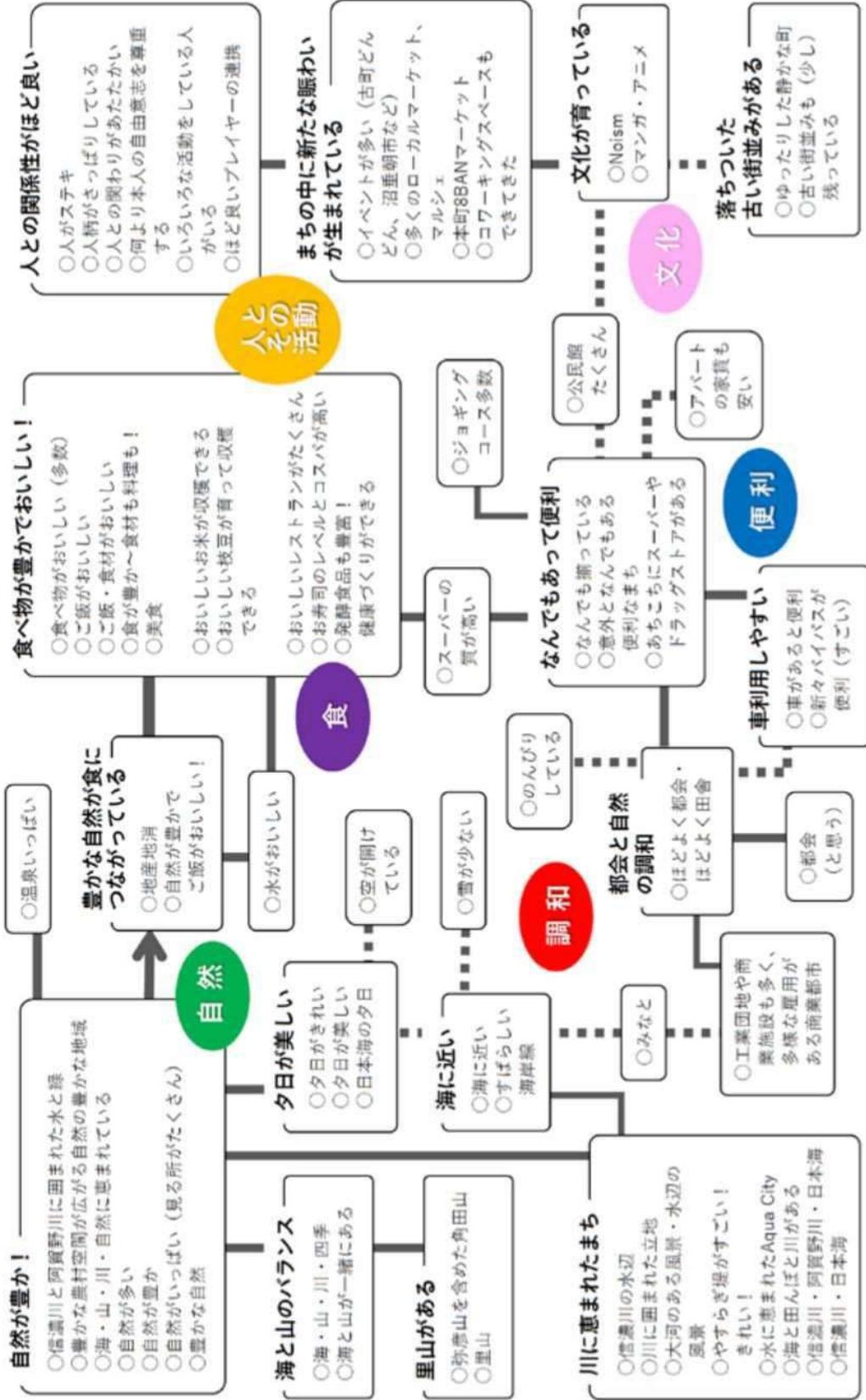
データ集約の作業風景



その場で集約した「新潟市の魅力」

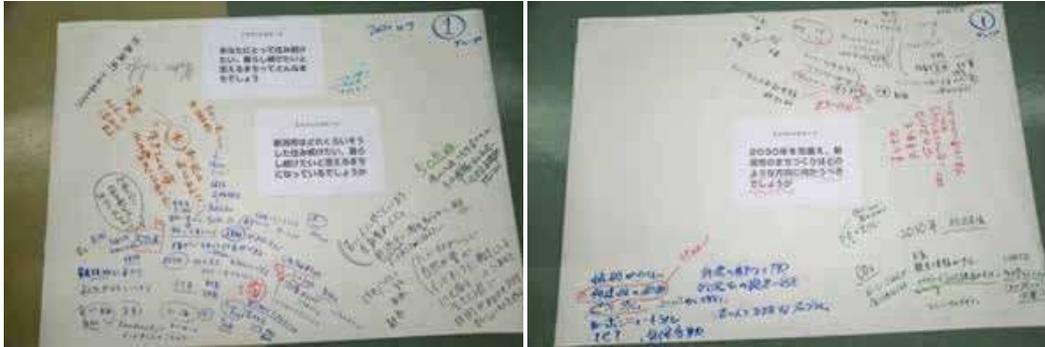
みんなで新潟市のミライをかたるワークショップ
2021.11.7 / 屏風らしワーク

私が感じている新潟市の魅力

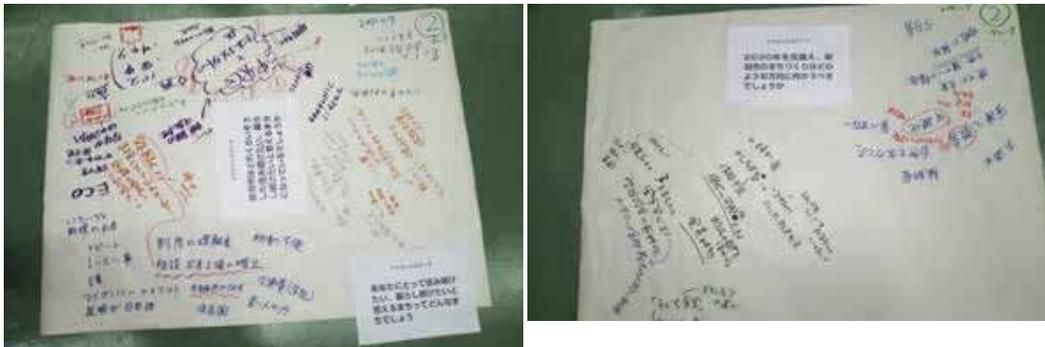


〈7〉各テーブルの模造紙と各班の発表

【1班】



【2班】



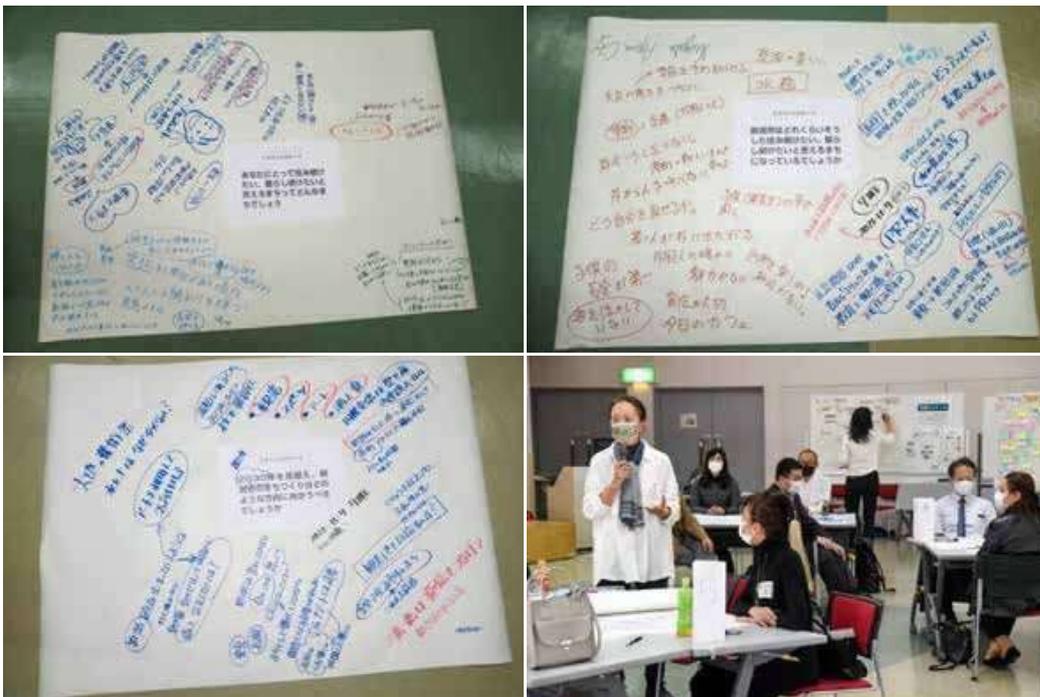
【3班】



【4班】

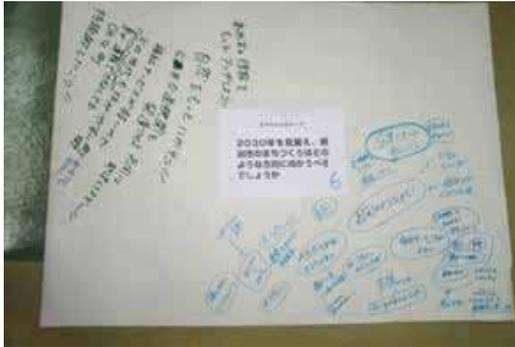


【5班】

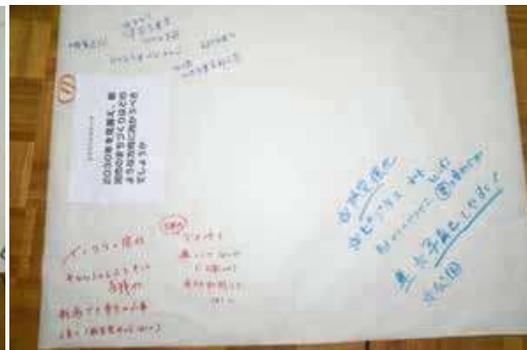


ワークショップ

【6班】



【7班】



【8班】



【9班】

ワークショップ



各班の発表のポイントを記録した模造紙